



ゆう&あい

6月号
平成27年
5月24日発行

優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛

播磨町ボランティアセンター・播磨町善意銀行
発行所：社会福祉法人 播磨町社会福祉協議会 TEL079(435)1712

のびのびはりま(障がい児生活訓練事業)スタッフ募集!

障がいのある小学生を夏休み期間の日中に預かり、子どもたちの交流などを目的とし、レクリエーションなどと一緒にを行うスタッフを募集します。子どもと関わるのが好きな方、お申込みお待ちしております。

期間 7月24日(金) から8月26日(水) までのうち月水金(8月12日、14日をのぞく)
全13回 各日9時~16時

【募集スタッフ】

募集	備考	募集人数
①リーダー	スタッフの中心となり、一日のプログラムの進行等を担っていただける方	1名
②スタッフ(一般)	学生・保育士やヘルパーの経験がある方・子どもと関わるのが好きな方 など (全日程参加できる方大歓迎です)	20名
③看護師	看護師免許をお持ちの方	1名

【時給】 ①リーダー 1,500円
②スタッフ 800円
③看護師 1,200円



【実施場所】 コミセンなど

【締め切り】 6月25日(木)
※ただし、申込み状況によってはこれより早く締め切る場合があります。

【お問い合わせ・お申込み】

指定の申込書に必要事項をご記入の上、下記までご持参いただくか郵送して下さい。
※申込用紙は、社会福祉協議会の窓口かホームページからもダウンロードできます。

播磨町社会福祉協議会
播磨町南大中1-8-41 福祉しあわせセンター内
TEL079-435-1712 FAX079-436-5610
Mail: info@harima-wel.or.jp

手話奉仕員養成(初級)講座受講者募集

手話は、耳の聞こえない人にとって重要なコミュニケーション手段の一つです。この講座は、町内で手話通訳を行う方の養成を目的としていますが、「手話には少し興味がある」という方もOKです!この機会にぜひ学んでみませんか?

日時：平成27年6月16日(火) ~平成28年3月29日(火) このうち毎火曜 (※ただし11月3日のみ4日へ振り替える)
全40回 午後7時~午後9時

場所：播磨町福祉会館
費用：3,500円(テキスト・その他資料代)
費用：稲美町ろうあ協会・手話サークルはりま
申込み：下記までお電話もしくはメールにてお申込みください。

締め切り：6月8日(月)
播磨町ボランティアセンター
播磨町南大中1-8-41 播磨町福祉しあわせセンター内
TEL/079-435-1712
e-mail/ info@harima-wel.or.jp



福祉映画会のお知らせ

日時：2015年6月27日(土)
『ペコロスの母に会いに行く』
13時30分 上映開始

場所：播磨町中央公民館大ホール

※12時から、ゆうあい園等によるチャリティーバザーがあります。
主催：播磨町民生委員児童委員協議会



運転ボランティア募集

ボランティアセンターでは、毎週木曜日に実施する高齢者給食サービスにかかわっていただける運転ボランティアを募集しています。

活動日：月1~2回 木曜日 15:30~17:00
内容：高齢者給食サービスの利用者宅への配食
問合せ先 播磨町ボランティアセンター
TEL079-435-1712

伝言板

このページに関する問合せは
播磨町社会福祉協議会
TEL.079-435-1712

おもちゃルーム “きらきら” いっぱいのおもちゃで遊ぼう 6月の開設日

日時 6月4日(木)・20日(土) 10時~12時
場所 播磨町福祉会館

心配ごと相談

秘密厳守
日時 毎週火曜日 13時~16時
場所 福祉しあわせセンター

◎法律相談をご希望の方は、事前に心配ごと相談をお受けください。

知的障害者(児)相談

日時 第2土曜日 10時~11時30分
場所 石ヶ池パークセンター



法律相談

弁護士により 月1回、実施します。
成年後見制度のご相談もお受けします。

子育て相談

日時 6月22日(月) 13時30分~16時
場所 福祉しあわせセンター
主任児童委員がご相談をお受けします。

福祉相談

日時 6月3日・17日(水) 13時30分~16時
場所 福祉しあわせセンター
民生委員・児童委員がご相談をお受けします。

困りごと相談

秘密厳守
日時 6月1日(月)・11日(木)・25日(木)
場所 福祉しあわせセンター
播磨町人権擁護委員がご相談をお受けします。

認知症家族の会

日時 6月13日(土) 13時30分~15時30分
場所 福祉しあわせセンター
内容 懇談会



「マップづくりって何?」

高齢者で一人暮らしの方などについて、その方と関わっている人との「関わり合いの線」を引いていきます。「1」の「関わり」は、家を訪ねている、連れ合っでいきいきサロンに参加している、井戸端会議をやっているなどの日頃の「お付き合ひ」を指します。

マップを作ることが目的ではなく、地域の「お付き合ひ」を見える化していくことが、つながりをつくるきっかけに、また「何か問題はないか?」と考える出発点になる、そのように考えていきます。

3月22日「支え合えるマップづくりセミナー」を開催し、シニアクラブや自治会役員の方、ボランティアさんなど、約170名の方に「参加いただきました。」

播磨町社会福祉協議会(以下、当会)では、「地域での見守り・支え合いの仕組みづくり」を目指していますが、この「マップづくり」に取り組むことで、その実現をはかりたいと考えています。

今回はその具体的な方法について、講師に木原 孝久氏をお迎えして「講演と模擬演習を行っていただきました。」

「住み慣れた地域で暮らし続けるためには、住民の助け合いが欠かせない」



木原 孝久氏
(住民福祉総合研究所)

「助けて、手を貸して」が言えないと... 「日本人の多くは「困った人がいたら手を貸す」が、自分が困った時に「手を貸して」とはそう簡単には言わない」といったお話しがありました。これは、当会が4年前に行った住民アンケートでも同じ結果でした。全国で講演をされている木原先生曰く、「この地域でも同じ傾向にあるそうです。」

つまり、「助けて、手を貸して」と言わないうちは、助け合いが起らないとの事。木原先生は、誰もが助けられ上手になることが必要である、と話されました。上手に助けを求め、近所の人の力を借りながらいつまでも住み慣れた地域で...そんな暮らし方も「自助」であるし、元気な頃から人付き合いが多く、自宅に人をよく招いている人は「助けられる」ための準備ができている人だとの事です。

あなたは、助け上手ですか? 助けられ上手ですか?

【参加者の声】
・わかりやすく楽しく聞いた。
・こだわりを捨て、近所との付き合いを深めていくことが大切だと感じた。

マップづくりをする
「関わり合いが少ない人」も見えてくる

午後の模擬演習では、グループに分かれ架空の課題事例を基にマップづくり(情報集約から課題解決まで)を体験しました。地域の情報をマップにどんどん書き込んでいくと、「今はない」線をつなぐことができれば課題が解決するのでは...といった考えも出てきます。また、制度やサービス任せな考えになっていたな、と気づく機会にもなりました。

参加者から...
地域の力を活かすことを考える必要性があると感じた。

拡大地図にどんどん情報を書いていきます。



「マップづくり」をやってみたい方、興味がある方はご連絡下さい。また「私の地域ではこんな方法で助け合っているよー」という情報もお持ちしてきます!

播磨町社会福祉協議会
電話 079(435)1712

播磨町地域包括支援センター
おじの会

今月は食べ物について少しお話をしてみたいと思います。
「食育」という言葉を聞いたことがありますか?。

これは今、子供たちが食べている食物を通して子供の体や精神又は日本の食文化を考えるなど色々なことを育てていくという考えです。皆さんも幼い頃は近くに畑があり野菜や果物などができている所を見たり、また魚屋には一匹の魚が並んでいるのを買った記憶がありますよね。でも現在の子供たちは切った魚しか見たことがないので、どんな姿をしているか知らない子供たちが多いらしいんです。

これは、動物や生き物の大切さを感じることや食べることで体の組織になるなどのことを学ぶことは必要であり食べ物や粗末にしない教育にも繋がることだそうなんです。

現在は、ファスト・フード(ハンバーガーやピザ)や肉食が好んで食べられていることで、子供たちにも高血圧や肥満などの成人病予備軍が発生しているとのことです。

日本人が日本食の調理方法や食物に対する知恵など色々なことを学ぶ機会が少なくなってきた今、反対に外国の人たちが日本食の素晴らしさを感じて日本以外の国で和食のお店が増えている現状です。

私たち日本人も、もう一度和食の調理方法や地方での郷土料理を見直してみる時代になってきているのでしょうか。今は季節も感じることも無く一年中色々な野菜などが流通している時代ですが、四季折々に味わえる旬を料理する気持ちを大切にしていきたいものですね。(平)

社協
おじの会
～ 会員募集中!! ～

5月の健康福祉フェアや11月の大中遺跡まつりの会場で、イチゴ・レモン・メロン・バナナの4つ綿菓子を販売し、長蛇の列を作っている真っ赤な帽子のおじちゃんの軍団をご存知ありませんか?それが、「社協おじの会」の皆さんです。

社協おじの会では、ともによく遊び、よく学び、そして地域にも貢献する新たな仲間を募集しています。

【グループのモットー】
『出来ることよりもしたいことを探す。また、好きなことを出来る範囲でやる』ことで、会員が有意義かつ楽しい活動を行う。

- 目的
- ①地域活動を始める「地域デビュー」の機会を得て、有意義な地域生活を送る。
 - ②参加者全員が、有意義な活動を楽しみ、心豊かに笑いのある人生を送る。
 - ③笑顔で語りあえる友達をつくる。
・新しい出会い・新しい仲間・新しい発見



寄付者ご芳名
あたたかい善意ありがとうございました。
(平成27年4月15日～5月10日)
(所得税法第78条第2項第3号該当
法人税法第37条第2項及び第3項第3号該当)

●福祉のために (敬称略)

地区名	氏名	金額
宮北	匿名	10,000円

(団体の部)

団体名	金額
ことぶき大学学生自治会	2,487円
社協おじの会	5,000円

●今月の払出状況

子どものいない老人誕生日祝	6,000円
要援護世帯米代	4,902円

問合せ・申込み
播磨町社会福祉協議会
TEL 079-435-1712
E-mail info@harima-wel.or.jp

【活動の内容】
月1回定例会を実施。年間計画をもとに、具体的な事業の実施計画を検討。

- ① 会員相互の交流事業
→懇親会・スポーツ・旅行など
- ② 地域行事への参加
→町が主催する「夏まつり」と「大中遺跡まつり」に綿菓子の模擬店を出店。売り上げの一部を社会福祉協議会に寄付。
- ③ ボランティア活動
→播磨町の南の玄関口である山陽電鉄播磨町駅周辺の清掃活動やデイサービスセンターでの将棋・マージャンボランティア